

令和3年度 第1回 岐阜県地方独立行政法人評価委員会（看護大学関係）

—— 議 事 要 旨 ——

- 1 日 時 令和3年7月9日（金） 13:00 ～ 14:25
- 2 場 所 Web会議（事務局：議会棟3階 執行部控室）
- 3 出席者
[委 員] 中島委員長、地守委員、富田委員、渡部委員
[専門委員] 青木専門委員、山岡専門委員
[法 人]（公立大学法人岐阜県立看護大学）北山理事長、土井事務局長
[設立団体]（岐阜県）堀健康福祉部長、森医療福祉連携推進課長、
若原看護対策監、堀込看護係長 ほか
- 4 議 事 等
[議 題 1] 令和2年度業務実績に関する評価について
[議 題 2] 中期目標期間の終了時の検討について
[議 題 3] 第3期中期目標（案）について
[報 告] 令和3年度年度計画について
- 5 配布資料 次第、名簿、資料1-1～1-3、2-1及び2-2、
3-1～3-4、報告、説明
- 6 議事要旨

議事概要 看護大学関係

[審議事項：議題1]

令和2年度業務実績に関する評価について

第1ブロック 法人から実績を説明

※教育に関する目標を達成するための措置について、資料1-1をもとに説明

第1ブロック 質疑応答

【富田委員】

対面授業と遠隔授業を併用したハイブリッド方式での授業について、対面授業と遠隔授業の割合はどれぐらいか。

【看護大学 北山理事長】

1年次生は比較的对面授業の割合が多かったが、それ以外の学年については半分以上が遠隔授業を選択していた。

【富田委員】

対面授業でないと実施しづらい授業は何か。

【看護大学 北山理事長】

演習と実習は実施しづらい。そのため、登校日を演習及び実習の実施日として、対面で演習をしている。また、実習は感染予防対策をとった上でなるべく現地で実施している。

【渡部委員】

卒後10年以上を迎える卒業者を対象とした調査について、何人ぐらいに送付し、回収率はどうであったか。また、質問内容や、目立った回答について教えてほしい。

【看護大学 北山理事長】

3月末までに返送を依頼した調査であり、既に3回程実施している。卒後10年以上となった人たちをまとめて2、3学年分ずつ調査対象としている。

本調査では、平成20年から22年度卒の3学年分を対象としているので、240人が対象である。回収率については、1回目の回収率が低かったため督促をしたが、40%程度に留まっている。

質問内容は、本学でどのようなことを学んだか、本学の教育についての意見・感想、実務をしていく上での自身の看護実践上の課題、本学に期待すること等である。

現時点で、回答内容を詳細には把握できていないが、50%から60%の卒業生が現在県内に就業中であったかと思う。

【山岡委員】

4月に休校としているが、8月及び9月の夏休み期間はどうかされたか。

【看護大学 北山理事長】

実際に授業を再開できたのは5月の連休明けであったため、学事日程を変更し、8月上旬の2週間及び9月下旬の2週間程度を前期の授業日とした。

【中島委員長】

新入生歓迎会及び大学祭について、コロナ禍でも実施したのか。

【看護大学 北山理事長】

入学式の後に休校としたため、新入生歓迎会はしばらくの間実施できなかったが、自治会の学生と相談をし、従来の実施方法ではなく感染対策を講じた上で実施した。岐看祭についても、実行委員の学生・教員と相談をし、学内者のみで小規模に実施した。

第2ブロック 法人から実績を説明

※研究に関する目標を達成するための措置等について、資料1-1をもとに説明

第2ブロック 質疑応答

【富田委員】

共同研究について、一般病院以外に看護系大学等教育機関とも連携されているか。

【看護大学 北山理事長】

ほとんどは現場の保健医療施設であり、病院や県の医療関係課と共同研究を実施している。

【富田委員】

看護大学同士での共同研究はあるか。

【看護大学 北山理事長】

現時点で、大学同士での共同研究には発展していない。

【中島委員長】

令和2年度の科学研究費の採択状況には敬意を表す。

各種研修会や講師派遣以外にコロナ禍における活動実績はあるか。

【看護大学 北山理事長】

県の要請を受け、昨年度の1月6日から1月25日までに宿泊療養施設での健康観察を

本学教員15名が担当した。また、今年度については、感染者が非常に多くなった5月から6月にかけて、県内保健所3施設に出向き疫学調査、患者の受診検査調査等を本学教員が延べ44名担当した。

【中島委員長】

専門看護師は今後様々な病院でニーズが高まってくると思うが、専門看護師コース修了者を増やしていく工夫や取組みはされているか。

【看護大学 北山理事長】

本学としても増やしていきたいという気持ちはあるが、修了要件が26単位から38単位となったことで、就業しながら3年間で単位を履修することはとても難しい状況である。今年度、今後のあり方や教員の負担軽減について検討する予定である。

【中島委員長】

オンデマンドを活用することができれば、もう少し負担が軽減されると思う。

【看護大学 北山理事長】

それを含めて今年度検討する。

第3ブロック 法人から実績を説明

※業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためにとるべき措置について、資料1-1をもとに説明

第3ブロック 質疑応答

【富田委員】

看護の人材育成と活用等に関する連絡協議会のオンライン会議について、オンライン環境が十分でない委員が見受けられたようである。病院等に所属する委員であれば環境は整っていると思うが、どのような組織に属する委員なのか。

【看護大学 土井事務局長】

どのような所属に属していたかは把握できていない。また、昨年度の途中時点での状況であるため環境は大きく変わっていると思う。

【富田委員】

現在は、Zoom等家庭でもできるような状況になっていると思う。

【渡部委員】

防犯カメラの管理規定等に係る監査はどのような目的でされているのか。

【看護大学 土井事務局長】

本学の監事立会のもと、防犯カメラの設置場所、実際に機能しているか等の監査をした。

【渡部委員】

サバティカル研修制度について、期間はどれくらいか。

【看護大学 土井事務局長】

職務を離れた長期研修であり1ヶ月から6ヶ月の間で、受入先と調整をして決める。

【渡部委員】

他大学においても期間は同じくらいか。

【看護大学 土井事務局長】

同程度であると認識している。

【渡部委員】

事務職員について、令和2年度に定年以外の理由で2名退職しているが、どのような理由か。

【看護大学 土井事務局長】

1名は以前から転職希望があり決断に至ったためで、もう1名は心身の不調のため退職した。

第4ブロック 法人から実績を説明

※財務内容の改善に関する目標を達成するためにとるべき措置等について、資料1-1をもとに説明

第4ブロック 質疑応答

【富田委員】

Web オープンキャンパスについて2,000名以上の参加があったとのことだが、昨年度の来校型は何名であったか。

【看護大学 土井事務局長】

1,000名以上の参加者であった。

【富田委員】

つまり、参加者が2倍以上に増えたということか。

【看護大学 土井事務局長】

Web ページの訪問者数はそうなる。

【富田委員】

岐阜県病院協会においても、従来は集合して実施する医学生向けのイベントを Web で開催したが、参加者は3、4倍増えたため、新しいアプローチの仕方であると感じている。

参加者の学年別の分布等については、把握されているか。

【看護大学 土井事務局長】

Web ページの訪問者の属性は把握できていない。

【山岡委員】

電子ジャーナルは高価なものであると思うが、その影響でその他の蔵書は予算上、削減されてしまうのか。

【看護大学 土井事務局長】

電子ジャーナルは、令和2年度時点で2, 160件契約しており、他の蔵書を減じて電子ジャーナルへ移行したり、積立金を活用しているものもある。

【山岡委員】

蔵書であれば図書館の財産になると思うが、電子ジャーナルは財産になるのか。

【看護大学 土井事務局長】

電子ジャーナルについては毎年の契約としており、財産としていない。

【中島委員長】

先ほど協議会各委員の Web 環境が不十分であったという話があったが、学生についてはどうか。

【看護大学 北山理事長】

昨年度、遠隔授業を開始する前に学生の状況について調査を実施し、確認したうえで遠隔授業を実施している。ただ、パソコンを持っている学生は少なく、大半がスマートフォンを利用して授業を受けており、通信の不具合等のトラブルが多かった。今年度に入ってから、学生及び教員が慣れてきたということもあり、そのようなトラブルはなくなった。

【中島委員長】

昨年度の前半の話であるが、岐阜大学において、アパート内にある1つの Wi-Fi を複数の学生が同時に利用していることにより、オンライン授業に支障が出ていたこともある

ため、通信環境は十分に確保してあげてほしい。

[審議事項：議題2]

中期目標期間の終了時の検討について

資料2-1に従い事務局から説明

質疑応答

なし

【中島委員長】

ご意見・ご質問がなければ、中期目標期間の終了時の検討について、当委員会としての意見書（案）を資料2-2のとおり知事に提出してよろしいか。

（異議なし）

【中島委員長】

異議なしと認める。それでは、中期目標期間の終了時の検討について、（案）のとおり知事に意見書を提出することに決定した。

[審議事項：議題3]

第3期中期目標（案）について

資料3-1～**資料3-3**に従い事務局から説明

質疑応答

【青木委員】

修了者が高度専門職業人として活動を推進できるよう支援とあるが、今般の新型コロナウイルス感染症や災害時といった変化に対応できる教育を期待したい。

【看護大学 北山理事長】

変化に対応できる能力については重要なことであり、大学の人材育成として求められていると考えている。

【中島委員長】

中期目標については、案の段階であるため、看護大学と県とで調整してもらいたい。

資料 3-4 に従い今後の事務の流れについて事務局より説明

質疑応答

なし

〔報告事項〕

令和 3 年度年度計画について

質疑応答

【富田委員】

一般の新型コロナウイルス感染症を含めた感染症対策についての記載があるが、災害時の感染症対策についても学生には知識として持ってもらいたい。例えば、東海地震等災害時の避難所での感染対策のあり方はとても重要であり、看護師の役割は大きいので、少しでも一般教育の中に盛り込んでもらえればと思う。

【中島委員長】

今後、ウィズコロナ・ポストコロナは重要になってくるため、ぜひ検討してほしい。最後に、会議の全体を通して、意見はあるか。

【地守委員】

県内就職率が年々増えている要因として何が考えられるか。

【看護大学 北山理事長】

県内就職率について、令和 2 年度は 75.6% と今までにない高さであった。要因について現在分析中であるが、2 点考えられる。1 つ目は、平成 29 年度に導入した学校推薦型選抜 B により入学した 1 回生が初めて卒業した年であり、ほとんどが県内に就職したためである。2 つ目は、令和 2 年度卒業生の就職先の決め手を調査したところ、これまでとは少し傾向が異なり、半分以上が地元と回答しており、コロナ禍において地元志向が強まったのではないかと考えている。そのため、県内出身者はほとんどが県内に就職しており、全体の県内就職率が高くなっている。

また、先ほど富田委員から意見があった災害時の感染症対策については、本学としてもとても重要であると考えている。指定規則の変更を契機に教育内容を全体的に見直し、健康・危機管理に関しての看護活動を強化するために時間数を少し増やす予定である。

以 上（終了時刻 14：25）